



諏訪ユネスコ協会

諏訪ユネスコ通信

第 22 号

発行日

平成 30 年 7 月 31 日

発行者

諏訪ユネスコ協会

編集委員会



挿絵：谷澤信憲

旧山一林組製糸事務所・守衛所（国登録有形文化財）

山一林組は明治 12 年に林瀬平が創業した大製糸会社。大正 10 年に建てられた洋風建築の事務所で、桧瓦葺き、切妻破風、煉瓦タイル張りの 2 階建ての建物からは、発展していた当時の様子が偲ばれます。現在は「きぬのふるさと岡谷絹工房」として使用されている。

平成 30 年度定時総会が開催される



平成 30 年度定時総会が 5 月 14 日（月）午後 3 時より諏訪市「ベルファイン」で行われた。会員 65 名中、出席 30 名、委任状 32 名、来賓に後藤茂之衆議院議員（代理・明美夫人）の他、諏訪郡下 6 市町村の教育委員会の代表が出席した。

第一部〔総会〕

平成 29 年度事業報告・決算報告・監査報告がいずれも承認された。

矢崎会長はあいさつで、本年度は 9 月 29 日・30 日に諏訪市で中部東ブロック・ユネスコ活動研究大会が開催されるので、会員の協力と大会の成功を呼び掛けた。



また、書き損じハガキの回収では、諏訪 6 市町村の児童・生徒・一般の方から回収した 7,910 枚を切手に交換、362,138 円の協力を得られたことが報告された。この額は全国 287 支部の中で、10 番目の多さだという。次いで、平成 30 年度事業計画案、収支予算案が審議され、全会一致で承認された。

第二部〔公開講座〕

講師に、有賀メアリーさん（諏訪東京理科大、信州大、豊南短期大：講師）を迎えて「地球丸に乗った私たち～異文化の中で生きる～」と題する講演を聞いた。



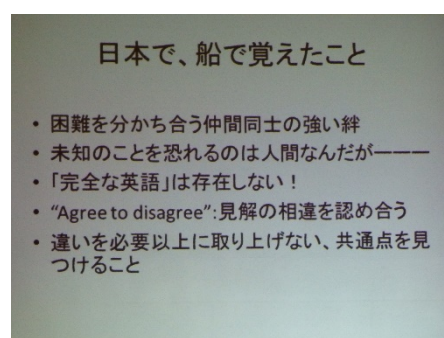
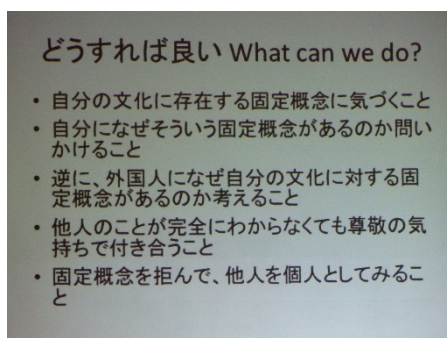


メアリーさんの故郷は、アメリカ・ニューヨーク市郊外にある人口 4,000 人の町オウィーゴ。高校在学中に交換留学生として鹿児島県に一年間滞在し、異文化の違いに驚きの連続であったという。

しかし、日本の文化に惹かれて一年後に再来日し、以後、日本に住み続けている。最初は「外人」として見られることに

意識過剰になりノイローゼにもなったという。

そうした体験の中から、多くの人と接し話し合うことで、異文化とのコミュニケーションをはかってきた。



メアリーさんは講演の中で、拳を握らせた人をモデルにし、それを周囲の人によって視点が違うので、それぞれ異なる角度の絵が生まれる。

それと同様に文化や風習も、視点によって違ってくることを認識する必要がある。

また、様々な人種の人が一同に集まって生活しながら航海する「世界青年の船」に参加した体験から、異文化のコミュニケーションの大切さを学んだという。ユーモアを交えながらの有意義な講演であった。



第三部 [懇親会]

講師の先生を交えながら、来賓・会員との交流が和やかに行われ、平成 30 年度の事業活動への取り組みを誓い合った。

最後に「ユネスコの歌」を全員で斉唱して、盛会のうちに終了した。

環境問題推進部会

諏訪湖アダプトプログラム・諏訪湖畔の清掃実施

平成30年度第1回諏訪湖アダプトプログラム・諏訪湖畔清掃は6月6日(水)午前9時より梅雨入りの小雨の中、会員12名参加により諏訪市石彫公園一帯の清掃を行った。

可燃物 10 kg、缶・ビン等 5 kg を回収した。



本年度第2回諏訪湖アダプトプログラム・諏訪湖畔清掃は中国、四国地方を中心に大きな被害をもたらした豪雨もおさまり、諏訪地域には大きな被害もなく、時折朝日のさす7月12日(木)午前9時より会員16名が参加して諏訪市石彫公園一帯の清掃を行った。

湖畔に打ち寄せられたポリ袋、ペットボトルなど可燃物約 40 kg、1,000 m²に渡り繁茂したアレチウリを除去し回収した。



2017 年度定時総会 出席報告

2018 年 6 月 16 日 於：東京

民間ユネスコ運動 70 周年に当たる 2017 年の事業報告及び決算報告と、2018 年度事業計画が承認された。併せて日本ユネスコ協会連盟の運営改善策が 2020 年度を目途として提案され了承された。

1. 2020 年度以降の機関誌について

組織関連支出が、会費収入総額を大きく上回り、主要原因が機関誌にあり、発行・発送形態の見直しが必要となった。

情報伝達の手法や電子媒体化の趨勢と、運営の効率化・経費節減の観点から 次の提案がされた。

- ① 2019 年度から徐々に、機関誌を WEB 掲載に移行したい。
- ② 移行までに、2018 年紙媒体 4 回（現行）、2019 年紙媒体 2 回・WEB 掲載 2 回、2020 年 WEB 掲載 3 回。



（左：鈴木佑司理事長 右：大橋洋治会長）

2. 2020 年度以降のブロック大会の実施について

開催地の各ユネスコ協会の負担を軽減するため。

- ① 原則 1 日開催として、2 日目に行っていた日本ユネスコ協会連盟セミナーは行わない。
- ② 支出額の上限を決め実施し、懇談会は受益者負担。
（実務担当者セミナーを別途東京開催で検討する）
- ③ 主管日本ユネスコ協会連盟の負担を減らすため、参加費の下限を 3,000 円とする。

尚、報告事項として、構成会員の会費値上げ案が提示された。

- ・ 日本ユネスコ協会連盟会員 1 人当たり 1,000 円→1,500 円

本件は各ユネスコ協会に直接影響するテーマであるため、2020 年からの適用を視野に、各機関で慎重に議論されて、来年度総会に提案される予定。

報告：木村紀穂

理事会報告

—— 平成 30 年度 ——

第 1 回理事会(88 回) 平成 30 年 4 月 23 日(月)18 時 30 分

報 告

- ・ 実行委員会及び 6 市町村担当者会議の報告
- ・ 永明小学校 五味浩一新校長への挨拶と諏訪大会協力の依頼
- ・ 本日 17 時より会計監査を行った（監査：濱善夫 高林徳枝）

議 事

1. 平成 30 年度定時総会について

(1) 日時：5 月 14 日(月)15 時

(2) 場所：諏訪市「ベルファイン」

(3) 総会資料

①平成 29 年度 事業報告・決算報告について

②平成 29 年度 会計監査について

③平成 30 年度 事業計画・収支予算について

④講演について

講師：有賀メアリー（異文化理解）岡谷市在住 東京理科大学講師
イギリス、シェフィールド大学、国際基督教大学卒業

演題：「地球丸に乗った私たち～異文化の中で生きる～」

⑤総会通知について

・ 会員には、返信用はがきを同封し発送(5 月 1 日までに返信)

・ 来賓、報道関係者への開催通知はユネスコ通信と同封発送

⑥総会資料作り 5 月 9 日(水)14 時～「ゆいわーく茅野」

・ 理事 事務局関係者 編集委員で出席出来る方

2. 中部東ブロック・ユネスコ活動研究大会関係

・ 第 4 回実行委員会開催 4 月 26 日(木)17 時～

・ 協賛金協力者の紹介…進捗状況の報告

・ 依頼方法について（各地区代表者を中心に依頼・集金）

・ 中間報告を 5 月末日、6 月末日に行う

3. 会計担当・理事の退任、就任について

・ 平成 30 年 4 月 23 日、会計担当の金子理事が体調不良の為、会計・理事を降板したい旨申し入れがあり承認した

・ 平成 30 年 4 月（新年度）より、永由恒司会員の理事・会計担当を理事会にて承認。規約に基づき総会にて承認を得ることとした

第 2 回理事会(89 回) 平成 30 年 5 月 10 日(木)18 時 30 分 於：ベルファイン

報 告

- ・ 東ブロック大会分担金：6 市町村中、富士見町・原村・諏訪市・茅野市・岡谷市が入金となった
- ・ 東ブロック大会時、観光場所における減免措置を申請、検討中
- ・ 5 月 18 日に永明中学校に於いて「ユネスコスクール」に対する打ち合わせ

せを行う

議 事

1. 平成 30 年度定時総会について（最終確認）

(1) 日時：5 月 14 日(月)15 時

(2) 場所：諏訪市「ベルファイン」

(3) 総会資料

①平成 29 年度 事業報告・決算報告について

②平成 29 年度 会計監査について

③平成 30 年度 事業計画・収支予算について

④講演について

講師：有賀メアリー：岡谷市在住 諏訪東京理科大学講師

演題：「地球丸に乗った私たち～異文化の中で生きる～」

準備品 プロジェクター一式

(4) 総会当日、準備品の確認（理事集合：14 時）

会場関係…受付、総会会場、懇親会会場、控室、案内表示

看板…平成 30 年度定時総会横断幕、式次第、講演会講師と演題垂れ幕、懇親会配置図

名札…会員出席者、来賓、報道関係

その他準備品…ユネスコ旗、来賓リボン、水差し、花、出席者名簿、ユネスコの歌 CD、懇親会領収書、歌詞カード

講師謝礼…会計担当 総会・懇親会出席者の確認

2. 中部東ブロック・ユネスコ活動研究大会関係

第 5 回実行委員会開催 5 月 24 日(木)17 時 「ゆいわーく茅野」

・協賛金中間報告

第 3 回理事会(90 回) 平成 30 年 6 月 11 日(月)18 時 30 分

報 告

- ・環境問題推進部会：6 月 6 日(水) 諏訪湖アダプトプログラム実施
参加者 12 名
- ・青少年活動助成金の認可があり 25,000 円が連盟本部より入金
(中部東ブロック大会に永明小学校の児童が参加する為)
- ・茅野市北山小学校にユネスコスクールに関わる紹介と説明を行った
- ・永明中学校はユネスコスクールに申請中
- ・日本ユネスコ協会連盟総会（6 月 16 日）に木村副会長出席

議 事

1. 平成 30 年度定時総会反省

- ・日時等良かった
- ・講演会は来賓が帰ってしまった為、聞き手が少なく残念であった
- ・来賓の控室で講師がインタビューを受けていたが役員が認識しておらず、来賓室の雰囲気が気になった
- ・事前に、講師にもインタビューの許可をとっておくべきであった
別室で行う等の配慮が必要

2. 中部東ブロック・ユネスコ活動研究大会関係

(1) 大会日程一部変更について

日本ユネスコ協会連盟より「青年評議員」の取り組み発表をしたい旨連絡があり、第1日目の17時15分より15分間日程をいれた

(2) 協賛金について

- ・各市町村の中間報告をおこなった
- ・役員・会員にも協賛金のお願いを行う事を決めた
任意ではあるが、役員5,000円以上、会員3,000円以上と目安を決めた（名前は諏訪ユネスコ協会会員一同として掲載する）

(3) 会員の名刺…必要な会員には名刺を作り渡す

(4) 協賛金のお礼…大会終了後冊子と礼状を送付する

(5) 第6回実行委員会開催 6月28日(木)18時30分「ゆいわーく茅野」

- ・係分担、計画等の話し合い

第4回理事会(91回) 平成30年7月13日(金)18時30分

報 告

- ・2018年度登録 7月13日(金)66名で登録
- ・日本ユネスコ協会連盟総会出席：6月16日(土)（木村紀穂副会長）
- ・第6回実行委員会 6月28日(木)実施
- ・諏訪湖アダプトプログラム 7月12日(木)9時から
- ・永明小学校4・5年講演会 7月20日(金)14時～14時45分
講師：小林大輔氏（永明小学校卒業、フランス在住）
内容：日仏文化の相違、欧州から見る日本、日本文化の継承、国際結婚

議 事

1. 新入会員：窪田浩美（富士見町）承認

2. 会費納入状況について

- ・会計担当より報告があり未納者は再度依頼する

3. 「中部東ブロック・ユネスコ活動研究大会 in 諏訪」関係

(1) 協賛金について

- ・中間報告…企業・個人の入金状況の確認
- ・会員の協賛金…依頼書をユネスコ通信配布時に同封

(2) 会員の出欠及び宿泊

- ・会員多数の参加を呼び掛ける返信ハガキを送付する

(3) 第7回実行委員会開催について

7月30日(月)18時30分「ゆいわーく茅野」

- ・係分担計画等正副部長で原案検討…係ごとの行動計画を作成する
本部：矢崎靖雄 庶務会計：永由恒司 事務局：安藤理恵子
会場係：玉舎興三郎 懇親会係：清水勝喜 広報係：濱勝也
- ・7月27日(金)15時 「ラコ華乃井」集合…会場の確認

(4) 大会に向けての確認事項について

- ・来賓の確認（原稿依頼・出欠席の確認） ・準備品の確認
- ・1日目の司会進行を松木祐基子氏に依頼する。2日目は三役で行う